



私たちの生活に欠かせない自治会の活動

災害に備える



避難所運営

日頃から顔の見える関係があることは、いざという時の安心につながります。自治会では、平成28年と本年の地震で自主的にコミュニティセンターや公民館を開放しました。平成28年の地震ですずかけ台自治会は、役員を中心に毎晩交通整理や避難所運営を行ないました。多い日は約100人が避難し、公園内の車は300台を超えました。

防災訓練の実施

災害時に公的機関による支援が始まるまでの間、地域で支え合う力(共助・互助)が大きな助けとなります。自治会では、日頃から防災訓練などを通じて、いざという時に助け合える地域づくりを進めています。



楽しむ

日帰りバス研修

子ども会が企画した、暑さで外遊びができないこどもたちの健康維持を目的とした屋内アスレチック施設への日帰りバス研修。こどもたちは専門家の指導のもとで元気に体を動かし、充実した時間を過ごしました。



さまざまな地域のイベント

自治会では軽スポーツやお祭りなどを開催しています。さまざまなイベントで地域のつながりや世代を超えた交流ができるのも自治会ならではのです。



防犯カメラの設置



犯罪の未然防止(抑止効果)、事件・事故の早期解決、住民の安心感向上のため、設置している地域もあります。『防犯意識が高い地域』であることを示し、安全・安心なまちづくりに努めています。

安全・安心なまちづくり

防犯灯の設置



自治会が管理する防犯灯は、夜間の犯罪防止や生活道路の安全を確保する主要な役割を担っています。自治会費から設置費や電気料金を負担しています。

パトロールの実施

須屋コミュニティでは、下校時『見守りパトロール』を週3回実施しています。青色回転灯を装備した車を使って、地域の防犯や見守りを行なっています。



ささえ愛ネットワーク模擬訓練

認知症の行方不明者が発生した場面を想定した模擬訓練。自治会からも参加し、声のかけ方や通報の仕方を学んでいます。認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりにも大きな役割を果たしています。



算数・数学サロン

算数・数学を通して、こどもたちに興味や関心を持ってほしいとの思いから、自治会が『算数・数学サロン』を開催しています。



ランニング教室

堀川区体育部が夏休み企画として、山鹿市出身の元箱根駅伝ランナー(関東学生連合)新田颯さんのランニング教室を開催しました。こどもから大人までランニングの基本から体の動かし方を学び、走る楽しさを感じました。



次号では自治会役員経験者の話と新たな活動などを紹介する予定です

